

科目名	英語特講 B Advanced English Communication B	科目コード	50570
-----	--	-------	-------

学科名・学年	全学科・5年（プログラム2年）
担当教員	市村勝己（一般教育科）
区分・単位数	履修単位科目・選択・2単位
開講時期・時間数	通年，60時間【内訳：講義58，その他2】
教科書	リーディングから始める英語プレゼンテーション入門
補助教材	配布資料
参考書	英和・和英辞典

【A. 科目の概要と関連性】

英語によるスピーチやプレゼンテーションを行う上で必要とされる知識・技術について学習し、実際に人前でスピーチやプレゼンテーション（質疑応答を含む）の実践を行う。本科目は長岡技術科学大学アドバンストコースの「協働科目Ⅰ」の一つである（受講生は必ずしも長岡技術科学大学のアドバンストコース生になる必要はない）。

○関連する科目：英語Ⅲ（4年次履修），コミュニケーション特講（4年次選択）

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(D)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
① 与えられた課題について英語によるスピーチ・プレゼンテーションが出来るよう必要な知識・技術を習得する。	30%	(e2)
② パワーポイントを使用し、英語でスピーチ・プレゼンテーションができる。	60%	(b3)
③ 英語での質疑応答が的確にできる。	10%	(b3)

【C. 履修上の注意】

- ・人前でのスピーチやプレゼンテーションに積極的に参加することが求められる
- ・外部講師の講義が含まれるため、授業計画に変更が生じる可能性がある。
また、補講ができないことがあるので注意
- ・スピーチやプレゼンテーションの準備としてショートエッセイを書く課題がある

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- 英語によるスピーチ・プレゼンテーション（70%）
- その他（30%）[課題・授業への参加・発言など]

【E. 授業計画・内容】

● 前期

回	内容	備考
1	企業における英語プレゼンテーションとは	Unit1
2	What's a presentation? – Show and tell	Unit1
3	How to produce outline	Unit2
4	How to produce outline	Unit2
5	Case and effect	Unit3
6	Cause and effect	Unit3
7	Compare and contrast	Unit4
8	Compare and contrast	Unit4
9	How to write a script for your presentation	Unit5
10	論理的思考方法 1	外部講師（長岡技大）
11	論理的思考方法 2	外部講師（長岡技大）
12	How to write a script for your presentation	Unit5
13	Preparing visual aids	Unit6
14	Preparing visual aids	Unit6
—		
15	発展授業	

● 後期

回	内容	備考
1	専攻科生の3分英語プレゼンテーション	Unit7
2	論理的思考方法 3	外部講師（長岡技大）
3	論理的思考方法 4	外部講師（長岡技大）
4	TED から学ぶ 1	
5	TED から学ぶ 2	
6	3分プレゼンテーション（私からの提案）日本語	
7	3分プレゼンテーション（私からの提案）英語資料作成	
8	3分プレゼンテーション（私からの提案）英語発表	
9	5分プレゼンテーション 日本語	
10	5分プレゼンテーション 英語 資料作成	
11	5分プレゼンテーション予行演習 1	
12	5分プレゼンテーション予行演習 2	
13	5分プレゼンテーション発表会	発表会は2月初旬を予定
14	発表会プレゼンテーションに対するフィードバック	
—		
15	発展授業	